

オイルクーラーユニット 取扱説明書

(弊社製スペシャルクラッチカバー / 乾式クラッチカバー取り出し)

製品番号	ラバーホース用	タイプ1 07-07-0152 タイプ2 07-07-0161
	スリムラインホース用	タイプ1 07-07-0153 タイプ2 07-07-0163
	ブレードホース #6 用 (弊社製アレグリブレードホース)	タイプ1 07-07-0154 タイプ2 07-07-0162
	ブレードホース #4 用	タイプ1 07-07-0365 タイプ2 07-07-0366

適応車種	モンキー・ゴリラ・モンキー BAJA・モンキー R/RT DAX・MAGNA50
適応条件	SP 武川製スペシャルクラッチカバー及び SP 武川製乾式クラッチカバー装着車両
対象弊社製 クラッチカバー	スペシャルクラッチカバー (砂型鑄造製) スペシャルクラッチカバー (ダイカスト製) スペシャルクラッチカバー TYPE-R (WET/DRY) 乾式クラッチカバー 2 型 (Ver. 1/Ver. 2) ※フィルター無しスペシャルクラッチ及びフィルター 前方付き乾式クラッチ除く

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、弊社フィルター付きスペシャルクラッチ、乾式クラッチ及びダイカスト製クラッチカバー専用部品です。他のクラッチには取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎当製品を使用すると、ノーマルマフラー及びアップタイプマフラーが使用出来なくなりますのでご注意ください。
- ◎当製品は、弊社スペシャルクラッチ及び乾式クラッチのオイルクーラーへのオイルラインを設定する部品です。
単品での使用は出来ませんので各車両に適応したオイルクーラーキットと併用してご使用下さい。

! スペシャルクラッチカバー (ダイカスト製) に使用する場合はご注意ください。

スペシャルクラッチカバー (ダイカスト製マグネシウム / ダイカスト製アルミニウム) にご使用の場合、サーモスタットユニット、及びオイルホールプラグとは同時に使用しないで下さい。同時に使用した場合、エンジンオイルが循環せず重大なエンジントラブルとなります。

～特徴～

ジュラルミン材を削り出し、アルマイト処理を施したオイルクーラーユニットです。
弊社製対象クラッチカバーにあるオイルフィルター部に装着することで、オイルクーラーへのオイル取り出しが可能になります。
オイルクーラーユニットは上方出し“タイプ1”と前方出し“タイプ2”の2種類があります。

! 注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

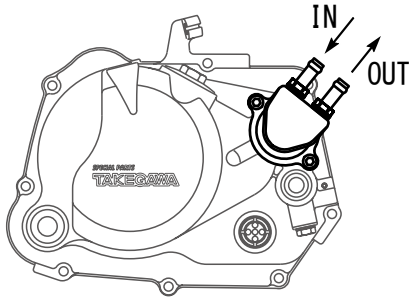
- 作業等を行う際は、必ず冷間時 (エンジン及びマフラーが冷えている時) に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)
- 製品及びフレームには、エッジや突起があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)
- ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。(オイル漏れ及びトラブルの原因となります。)

! 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

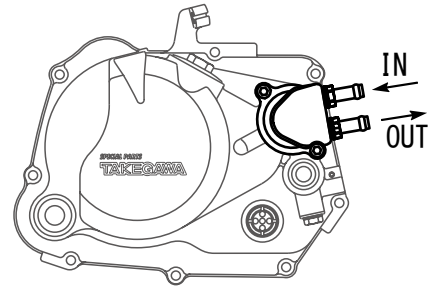
- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(事故につながる恐れがあります。)

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

タイプ1

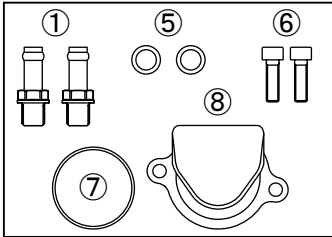


タイプ2

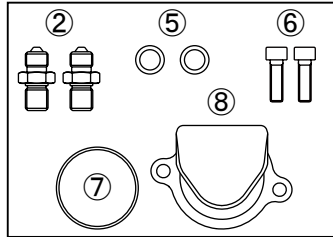


製品内容

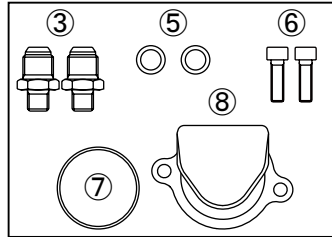
ラバーホース用タイプ1
07-07-0152



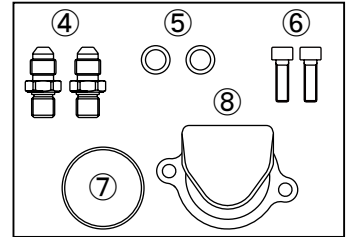
スリムラインホース用タイプ1
07-07-0153



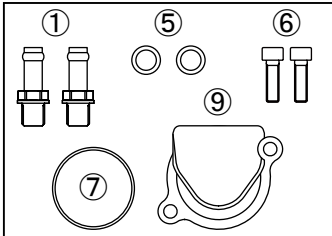
ブレードホース #6 用タイプ1
07-07-0154



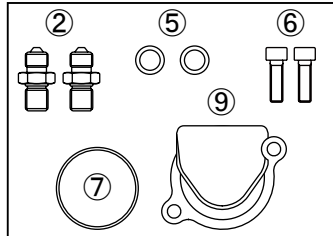
ブレードホース #4 用タイプ1
07-07-0365



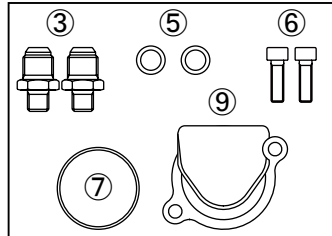
ラバーホース用タイプ2
07-07-0161



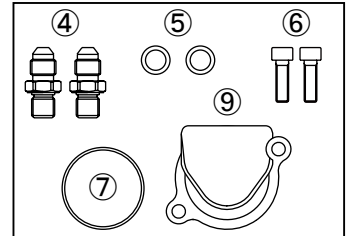
スリムラインホース用タイプ2
07-07-0163



ブレードホース #6 用タイプ2
07-07-0162



ブレードホース #4 用タイプ2
07-07-0366



番号	部品名	個数	リペア品番
1	ストレートユニオン (M10)	2	00-07-0123 (ユニオン1ヶ、シーリングワッシャ1ヶ入り)
2	アダプター (スリムライン/M10)	2	00-07-0032 (アダプター2ヶ、シーリングワッシャ2ヶ入り)
3	アダプター (AN#6/M10) (弊社製アレグリブレードホース)	2	00-07-0149 (アダプター2ヶシーリングワッシャ2ヶ入り)
4	アダプター (AN#4/M10)	2	00-07-0193 (アダプター2ヶシーリングワッシャ2ヶ入り)
5	シーリングワッシャ (10X14X1.5)	2	00-07-0106 (10ヶ入り)
6	ソケットキャップスクリュー 6X15	2	00-00-0718 (5ヶ入り)
7	Oリング 40mm	1	00-02-0040
8	オイルクーラーユニット (タイプ1)	1	00-00-1130
9	オイルクーラーユニット (タイプ2)	1	00-00-1131

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。
予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合は
セット品番にてご注文下さいませお願い致します。

弊社製クラッチカバー一覧

オイルクーラーユニットの 取付け可能なクラッチカバー一覧		
	クラッチカバー名	クラッチカバー形状
現行品	スペシャルクラッチ カバー TYPE-R (WET/DRY)	
	スペシャルクラッチ カバー (ダイカスト製) コンプリート用 プライマリー含む	

オイルクーラーユニットの 取付け可能なクラッチカバー一覧		
	クラッチカバー名	クラッチカバー形状
旧タイプ	スペシャルクラッチ カバー (砂型鑄造製)	
	乾式クラッチカバー (2型 / ver. 1)	
	乾式クラッチカバー (2型 / ver. 2)	

オイルクーラーユニットの 取付けが出来ないクラッチカバー一覧		
	クラッチカバー名	クラッチカバー形状
旧タイプ	スペシャルクラッチ カバー (砂型鑄造製) (オイルフィルター 無し)	
	乾式クラッチカバー (2型 / ver. 1)	

■オイルクーラーユニットの組み付け

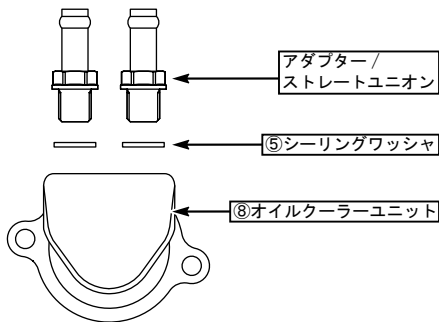
■オイルフィルターカバーの取外し
 オイルの受け皿を用意し、弊社製クラッチカバーにあるオイルフィルターカバーのキャップスクリュー2本を取り外します。これにより、オイルフィルターカバー、オイルフィルターが外れます。

※フィルターカバーを外すとエンジンオイルが出てきますのでご注意ください。

※オイルのじみ等の原因となる為、ケース内に残っているオイル及びOリング当たり面のオイルを拭き取して下さい。

■アダプターの取り付け

アダプター/ストレートユニオンに⑤シーリングワッシャを入れ、⑧オイルクーラーユニットCOMP.に取り付け、締め付けます。



▲注意：必ず規定トルクを守る事。

アダプター
 トルク：13N・m (1.3kgf・m)

■Oリングの取り付け

⑧オイルクーラーユニットCOMP. に⑦Oリングを取り付けます。

▲注意：Oリングは、分解毎に必ず新品と交換して下さい。(再使用した場合、オイル漏れ等によるトラブルの原因となります。)

■オイルクーラーユニットCOMP. の取り付け
 オイルクーラーユニットCOMP. へ装着した⑦Oリング部に薄くエンジンオイルを塗布します。

オイルクーラーユニットの突起部にオイルフィルターを差し込みます。

クラッチカバー側にスプリングが入っているを確認し、オイルクーラーユニットCOMP. とエアフィルターを共にクラッチカバー(オイルフィルター)へ差し込みます。

⑥ソケットキャップスクリューを使用し、規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

ソケットキャップスクリュー
 トルク：10N・m (1.0kgf・m)

※クーラーユニット取り付け時にOリングのかみ込みに注意して下さい。

※エンジン始動後は、オイルクーラーやクーラーユニット等が高温になりますので十分注意して下さい。

▲スペシャルクラッチカバー(ダイカスト製)に使用する場合はご注意ください

スペシャルクラッチカバー(ダイカスト製マグネシウム/ダイカスト製アルミニウム)にご使用の場合、サーモスタットユニット、及びオイルホールプラグとは同時に使用しないで下さい。同時に使用した場合、エンジンオイルが循環せず重大なエンジントラブルとなります。

■オイルホースの組み付け

■使用する弊社製コンパクトクーラー(オイルクーラー本体)の説明書に従い、バンジョー、バンジョーボルトを仮付けします。

■使用するオイルクーラーステーキットの説明書に従い、オイルクーラーステー及びオイルクーラー本体を取り付けます。

■ラバーホースの場合

対象となる弊社製オイルクーラーステーキットを装着し、ラバーホースの適切な長さを求めます。ラバーホースを適切な長さにカットする為、ホースを仮付けし、長さを測ります。

ホースの取り回しにかかる長さに加え、各バンジョーへ差込む長さが必要になります。長さを計測後、ラバーホースをカットします。ラバーホースにホースクランプを通し、オイルクーラー本体側のバンジョーとオイル取り出し口側のバンジョーに差し込みます。オイルホースの他の部分と著しく干渉しない様に取り回しを行い、オイルクーラー本体側のバンジョーボルトを締め付けます。

バンジョーボルト締め付け時は、オイルクーラーヘッダー部分に必ずスパナ等を掛けて固定して下さい。最後にホースクランプを締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

オイルクーラー本体側のバンジョーボルト M12
 トルク：22.5N・m (2.3kgf・m)

■ホースのねじれや折れがないか確認し、ホースクランプを締め付けます。

ホースを束ねる必要がある場合は、ステーキット付属の結束バンドをご使用下さい。

■ブレードホース #6

(弊社製アレグリブレードホース)の場合

対象となる弊社製オイルクーラーステーキットで指定されるホース長のブレードホース #6 を必ず使用する必要があります。又、指定の位置に指定のホース長を取り付ける必要があります。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

#6 ブレードホース (フィッティング)
 トルク：10N・m (1.0kgf・m)

バンジョー M12 の向きを調整し、バンジョーボルト M12x1.0 を締め付けます。

バンジョーボルト締め付け時は、必ずオイルクーラーヘッダーにスパナ等を掛けて締め付けて下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

オイルクーラー本体側のバンジョーボルト M12
 トルク：22.5N・m (2.3kgf・m)

■ホースのねじれや折れがないか確認し、ホースクランプを締め付けます。

ホースを束ねる必要がある場合は、ステーキット付属の結束バンドをご使用下さい。

■スリムラインホースの場合

対象となる弊社製オイルクーラーステーキットで指定されるホース長のスリムラインホースを必ず使用する必要があります。又、指定の位置に指定のホース長を取り付ける必要があります。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

スリムラインホース (フィッティング)
 トルク：6N・m (0.6kgf・m)

バンジョー M12 の向きを調整し、バンジョーボルト M12x1.0 を締め付けます。

バンジョーボルト締め付け時は、必ずオイルクーラーヘッダーにスパナ等を掛けて締め付けて下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

オイルクーラー本体側のバンジョーボルト M12
 トルク：22.5N・m (2.3kgf・m)

■ホースのねじれや折れがないか確認し、ホースフィッティングを締め付けます。

ホースを束ねる必要がある場合は、ステーキット付属の結束バンドをご使用下さい。

■ブレードホース #4 の場合

対象となる弊社製オイルクーラーステーキットで指定されるホース長のブレードホース #4 を必ず使用する必要があります。又、指定の位置に指定のホース長を取り付ける必要があります。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

#4 ブレードホース (フィッティング)
 トルク：10N・m (1.0kgf・m)

バンジョー M12 の向きを調整し、バンジョーボルト M12x1.0 を締め付けます。

バンジョーボルト締め付け時は、必ずオイルクーラーヘッダーにスパナ等を掛けて締め付けて下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

オイルクーラー本体側のバンジョーボルト M12
 トルク：22.5N・m (2.3kgf・m)

バンジョー M12 の向きを調整し、バンジョーボルト M12x1.0 を締め付けます。

バンジョーボルト締め付け時は、必ずオイルクーラーヘッダーにスパナ等を掛けて締め付けて下さい。

■ホースのねじれや折れがないか確認し、ホースフィッティングを締め付けます。

ホースを束ねる必要がある場合は、ステーキット付属の結束バンドをご使用下さい。

■ノーマル部品組み付けとオイル量の調整

■ノーマル部品の取り付け

オイルクーラーキットの装着に伴い、取り外した外装部品等を車両のサービスマニュアルを参照し、取り付けします。

■オイル量の調整とエンジン始動

4フィン は 60cc、3フィン は 40cc 程度エンジンオイルを追加し、エンジンを始動します。

各部にオイル漏れが無い事を確認しエンジンを止め、約1分後オイルレベルゲージで基準範囲内にあるかを確認します。少ない場合は補充します。